

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23年 4月 10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670600115
法人名	社会福祉法人 桜仁会
事業所名	グループホーム 風の詩
所在地	鹿児島県阿久根市赤瀬川276-1 (電話) (0996) 64-6211
自己評価作成日	2011/1/21

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaken-shakyo.jp/kohyo/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町5 4 番 1 5 号
訪問調査日	平成23年2月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

風の詩では、利用者様とご家族との関係性が保たれるように、外泊や外食などいつでも出来るようしており、された場合は食費を免除しています。又面会時間も設けておらず、気軽にホームでの面会が出来るように心がけています。

レクリエーションでは外気浴を兼ねてベランダでの茶話会や昼食会を行ったりしてホーム内に引きこもりにならないようにしています。月1回生き生きサロンに参加し地域の方とレクリエーションなどを行いながら交流もされています。

ドライブにも出かけ自宅や墓参りなど要望を聴きながら戸外活動も行っています。

健康面では医師の定期的や往診や看護のバイタルチェックを行い、健康で楽しく過ごせるように支援を行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

阿久根駅から丘陵地を上って行くと、介護老人保健施設・デイサービスセンターとともにホームがあり、そこからは海が見下ろせ、素晴らしい景色が見える。併設施設と連携がとられ、夜間緊急時や医療面での対応が期待でき、安心感となっている。心配される地域交流の難しさに対しては、以前住んでいた地域の生き生きサロンで知人との会話を楽しむ機会を作るなど積極的な取り組みがおこなわれている。

○医療面について
医療面においては、協力病院との24時間体制の連携がとられ、いつでも受診ができ、利用者本人、家族からの信頼も厚い。

○運営に関する職員意見の反映
ホームの運営も職員を含めた話し合いを中心に進められ、また話しやすいことでも失敗したことでも気軽に発言できる雰囲気がある。これらのことから、管理者、職員同士の仲もよく、利用者も含め、家族のような感覚で日常を過ごしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所理念はいつも頭の中に入れて支援している。事業所会議でも理念について確認行っています。	理念には「地域と交流深める」などの言葉を含み、地域に根ざしたサービスを意識できる内容が盛り込まれている。理念を掲示するとともに、毎日の朝礼において唱和し、事業所にて具体的に話し合っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域へ出向き月1回交流を行っている。地域の民生員とも交流や運営推進会議出席して頂いている。	毎月生き生きサロンに参加し、地域の催しごとに参加し公園等へ散歩で出会う地域の方へのあいさつや声かけなどにより関係づくりに力を入れている。地域や民生委員との交流会やボランティアの受け入れを行い、日常的に交流が行われている。	
3	0	○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	病院の看護師の方々の研修、民生員の方々の施設見学、今後ホームを利用したいと考えている方や家族の見学など積極的に受け入れている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回実施し、行政や民生員家族の代表者の意見・情報が得られそれらを元に利用者を戸外活動にお連れし地域の方とふれ合いをもつようにしている。	2ヶ月に1回開催され、事業所行事等の報告のみではなく、出席者の意見や助言などがあり、有意義な会になっていることが議事録より確認できる。評価結果については計画シートを利用し前向きに取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議等や市の担当者とも話し合いを持って協力しあっている。	パンフレットを窓口においてもらう時や、事務手続き等で頻繁に市担当窓口や福祉事務所などに訪問し、問題や事故や認定手続きなどの情報交換を行うなど、協働してサービスの質の向上に取り組んでいる。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	玄関の施錠をしない見守り徹底しながら行っています。	マニュアルを作成し研修を行い、玄関をはじめ各居室に鍵をかけない自由な暮らしの支援を職員の努力で実現している。職員は常に利用者の状態を把握し、外出されるときにはさりげなくついて出たり、見守りを行っている。		
7	0	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修を行い、肉体的・精神的虐待はゼロでありたいと常に思って介護している。			
8	0	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度についての講演があり、2時間近く話を聞く機会があり難しい問題と思いましたがアンケートなど出しこれからも勉強したいと思っている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9	0	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	パンフレットや契約書などを元に説明を行い理解して頂けている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	担当者会議・家族会や運営推進会議等で要望・意見など聞きとりし、運営に取り入れている。	玄関に相談窓口を掲示するとともに、家族会も定期的に関くなど家族が意見や要望を表しやすいような工夫と配慮が感じられる。職員が苦情などを把握した時には苦情・相談報告書や申し送り簿で他の職員と情報を共有し、必要な場合は職員会議で話し合い、本人や家族に報告するなど速やかな解決を図っている	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員が意見を出しやすい雰囲気作り、月1回話し合いの機会を設け意見交換を行っています。	朝礼、研修会、事業所会議時に勤務体制などの話し合いをもっている。また、管理者は気軽に声をかけやすい雰囲気づくりに心がけ、悩みがありそうな職員には個別に声かけを行い問題解決を図っている。	
12	0	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職場の環境など働きやすい職場づくりに努めています。スタッフ全員で話し合う機会を設けたり。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13	0	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	グループホーム協会の研修や外部研修等に参加し向上に努めている。		
14	0	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	グループホーム協議会で交流や近隣施設との交流も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15	0	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	気軽にホームに来て頂きコミュニケーションを計れるように家庭的な雰囲気作り本人・家族の思いを伺い、安心してもらっている。		
16	0	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	いつでも気軽にホームに来て頂き相談出来るような雰囲気作りをし信頼して頂けるように努めている、その為にはスタッフ全員で今後も取り組んでいきたい。		
17	0	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族の希望要望を受け入れスタッフ全員で話し合い、状況にあったサービスになるようにしています。		
18	0	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	皆さんと一緒に会話をし戸外活動などに参加したり暮らしの中で協力しあったりして関係を築いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	0	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	時には家族と一緒に外出・外泊などされたり面会時にはゆっくりと話しをして頂けるような環境作り、毎月月間報告書など送付し現状をお伝えし、家族の絆を大事にしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	生き生きサロンへ参加したりドライブ時お墓参りや家族への面会に立ち寄りしたりしています。	入所者台帳や申し送り簿の面会記録を活用し、利用者を支えてくれていた人間関係を把握するとともに、関係を継続できるように面会、手紙、電話の支援や、墓参りやなじみの店への買い物などの外出支援を行っている。	
21	0	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共通の話題を作っあげながら利用者同士が会話をしたり、笑ったり穏やかに過せるよう支援している。		
22	0	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	町であった時はなどは話し、面会に行ったりと関係を大事にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入所時や日々の暮らしの中で希望や考えや思いを聴き把握している。	利用開始前に本人や家族、外部関係者からどのように暮らしたいかを聞き、アセスメントシートなどに記載し、介護計画に活かしている。入居後は日々のかかわりの中で本人の意向をくみ取り、ケア会議などの場で職員間の共有をはかっている。	
24	0	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前や利用時にどのような生活であったか聞いています。		
25	0	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活リズムを把握し、職員同士情報の交換を密に行い、その日の経過記録や申し送りでの現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の希望を受け入れスタッフ全員でモニタリングやケアプラン等話し合い、状況にあった介護計画を作成に努めています。	本人、家族も参加した担当者会議を開き話し合いながら計画を作成している。また、事業所会議で介護支援専門員と職員が話し合い、介護計画を作成することで、職員はすべての利用者の介護計画を意識して日常の介護を行っている。主治医とは往診時にケアプランについて話し合っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27	0	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	その日の経過記録や申し送りでの現状の把握に努めてモニタリングし計画の見直しなどに努めています。		
28	0	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に応じて病院受診・外出などの支援している。		
29	0	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ドライブ・買い物・お墓参り・公園散歩や生き生きサロン参加し交流楽しませられている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の定期往診を受けられ状況によっては病院受診行っています。	かかりつけ医は入居前からかかっている医療機関に本人や家族の意向を大切に決めていく。往診時も適切な治療が受けられるように申し送り簿等で情報提供に努めており、良い関係がつけられている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	0	○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回訪問看護のバイタル測定等時日々の状態報告・相談しながら支援行っています。		
32	0	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関や連携室のスタッフと連携をとり情報交換・相談に努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	常に家族との連携をとり状況を連絡し出来る限りスタッフ全員で支援している。今後も終末ケアに付いて全員で学びを深めていきたい。	重度化や看取りに対する対応指針を定め、家族に説明し同意をもらっている。また、その後も状況に応じて本人や家族、かかりつけ医と相談し、職員間の情報共有も図っている。協力病院と24時間体制で連携がとれ本人・家族の安心感につながっている。	
34	0	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に研修し知識をたかめ備えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>利用者と供に防災訓練を実施し、消防署員から消防設備の取り扱いや指導受け全職員が災害時に備えています。近隣の方へ緊急時の応援を依頼している。</p>	<p>非常災害時の必要な備品の管理もされ、夜間体制も含む避難訓練や消火訓練を行うとともに、マニュアルを作成し研修にも取り組んでいる。地域住民には理解を呼び掛けた結果、協力して災害対策を行う体制を整えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	年金・恩給・お金について聞かれた時など本人様が安心されるまで傾聴、安心されるような声掛け相づち行っています。	玄関に方針を掲示している。利用者への対応は十分に注意をはらい、自己決定しやすい言葉かけを心がけている。また、記録等は事務室の鍵のかかる棚に保管し外来者の目につかないように配慮している。	
37	0	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	家庭的な雰囲気をつくり自己決定できるように努めている。		
38	0	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その方の趣味にあわせて草花の手入れや買い物又はお墓参り等希望に添った支援をしている。		
39	0	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	起床後整髪や身支度など、お化粧される方は満足のいかれる様見守っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	買い物や汁物を注いでもらったり配膳や後片付け等職員と一緒にしています。	おやつ前には嚥下体操を意識した合唱を行っている。テレビや料理本を見ながら食事の希望や食欲を引き出す工夫をしたり、旬の食材を利用したり、下ごしらえ、配膳、下膳を一緒に行うことで食への興味を持たせている。食事は職員も一緒に会話を楽しみながらとっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	0	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や1日の水分量を毎日チェック記録し、少なめの方は数回に分けて高栄養食や水分を摂ってもらっている。		
42	0	○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の声掛け行い歯磨きしてもらい出来ない方はスタッフがお手伝いしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェックを確認し声掛け行いトイレ使用して頂いている。自分で出来ない方は誘導しトイレで排泄されている。	排泄チェック表が時間単位で作成され、本人の生活リズムが確認でき排泄の自立へ向け支援している。	
44	0	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日歩行訓練などの運動をして頂き、食事面では出来る限り野菜や繊維の多い食品又水分を摂ってもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的には週3回であるが毎日入浴日をもうけ希望される方には入浴してもらっています。	体調や希望により入浴やシャワーなどの対応ができる。入浴を嫌われる方にはできるだけタイミングをみた声かけや入浴剤、季節によってはゆず湯などを利用し、気持ちよく入浴が楽しめるよう工夫している。	
46	0	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の状態をみて声掛けし休憩や入眠の支援をしている。		
47	0	○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方指示書をスタッフがいつでもみられる様な場所にファイルし確認するようにしている。		
48	0	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物の仕分け・たたみやお膳拭きお絞りまきなど一人ひとりに役割をもって楽しみながら手伝ってもらっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	買い物・お墓参り・自宅へ出かけたり、時々家族の方と外出されたり。又、初詣や花見など本人様の思いを聞きながら出かけられています。	ベランダが設置され天気の良い日は外気浴が行われている。また、本人の希望に応じて買い物、ドライブ、墓参り、自家菜園での作業など戸外に出かけられるように配慮し、気分転換やストレス発散、五感刺激の機会として外出支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50	0	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>一緒に買い物へ出かけ品物を選んだりしますが会計はされません。ご自分のこづかいを数えたりはされています。</p>		
51	0	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話のとりつぎをしています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>天気の良い時はベランダへ出て外の空気を肌にふれて季節を感じて頂きレクリエーションなど行い、貼り絵など掲示し居心地よく生活出来るように取り組んでいます。</p>	<p>景色の良い広いベランダはとても気持ちよく、共有空間には絵画や花が飾られ、リビングや廊下は思い思いにくつろぐことができるスペースが確保されている。リビングは日差しが差し込み明るく、心やすらぐ家庭的な雰囲気がただよい、居心地よい空間となっている。</p>	
53	0	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者同士で気の合う方とロビーで話しをしたり、一人ひとり落ち着く場所で過して頂けるようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に使い慣れた小物を持ち込んで頂くよう声掛けを行い利用者によっては違背など部屋にまつりお参りする事で心の落ち着きを保ったりTVを自室に置いて好きな番組を見て楽しまれている。本人様が気にいられる居室作りを工夫しています。	家族とも相談し一人ひとりの希望や状況に応じてテレビ、位牌、家具、ぬいぐるみ、写真、手紙など馴染みのあるものが持ち込まれ居心地のよい空間となっている。	
55	0	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーになっており、居室・トイレなど表示し分かりやすいようにしています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない